

オディックスグループ
環境報告書

Environmental Report 2020

2020



OTICS

ごあいさつ

オティックスグループは、エンジン機能部品を中心とする精密部品を生産しております。そして、これらの部品の機能、特性が、自動車の環境性能向上に寄与していることを十分認識し、日々研鑽を積んでおります。

近年グローバルでの異常気象は、世界各地での集中豪雨や大洪水の頻発、一方アフリカでの干ばつ等相反する災害が発生しています。国内においても日本各地に100年に一度の異常気象との報道を耳にします。原因は特定できないまでも地球温暖化との結びつきを否定することは出来ないでしょう。

当社は以前より継続的に「環境取り組み3ヵ年プラン」を展開してまいりました。2020年度は、第7次の「環境取り組み3ヵ年プラン」継続年でもあり、環境保全の四本柱である「地球温暖化対策」、「循環型経済社会の構築」、「環境負荷物質管理」、「環境意識強化活動」に挑戦中です。また、「本物の森」づくりを目指し取り組んできた植樹活動「オティックスの森」についても継続して取り組んでいきたいと思っています。

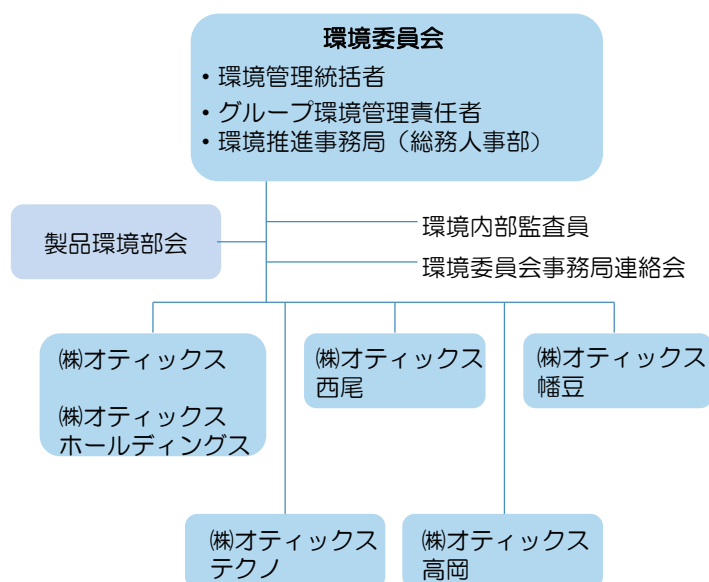
当社はこれらの改善活動をご理解いただくために、環境コミュニケーションをより重視してまいります。

引き続きご理解とご協力をお願い致します。

2020年6月 代表取締役社長 小田井勇樹

グループガバナンス

当社は、グループ全体で環境活動および社会貢献活動を展開しています。



社是・経営理念

I. 社是

『和と努力』 Harmony & Effort

- 顧客→顧客との和／品質への努力
- 技術→技術と人間の和／技術革新への努力
- 社会貢献→地域社会との和／企業文化創造への努力
- ヤングスピリット→伝統と革新の和／各自の創意工夫の努力

II. 経営理念

『和と努力』を基とし、常に創意工夫をもって、品質の向上、コストの削減に努め、会社の繁栄と社員の幸福を図り、社会に貢献する。

認証取得

当社は、全グループ会社で下記の認証・登録を取得しています。

認証・登録	認証・登録日	認証・登録番号
ISO9001	1998年3月登録	JQA-2191
ISO14001	2001年5月登録	JQA-4812
IATF16949	2018年5月登録	0306371 ~0306375

●環境委員会

3ヶ月に1回、環境管理統括者、グループ環境管理責任者及び各社環境管理責任者、環境委員会事務局連絡会メンバーが環境取り組み3ヵ年プランの推進及び環境マネジメントシステムの運用状況の確認を行います。また、環境関連法規制、ISO14001 2015年版の継続に伴う課題の対策などを行います。

●環境委員会事務局連絡会

3ヶ月に1回、環境推進事務局、各社担当課メンバーで環境委員会での協議内容の進捗確認など情報共有を行います。

コンプライアンス管理として、各社で環境管理責任者に任命された法定管理者、法定責任者を置き、法で定める役割、責任を果たすための権限を与えています。

●製品環境部会

原則3ヶ月に1回、製品含有化学物質の管理に関する取り組みを実施しています。

環境方針

オティックスグループ（以下当社）は、かけがえない自然の大切さを認識し、地球環境の改善が事業活動の最重要課題の一つであると位置づけています。

当社はエンジン機能部品専門メーカーとして精密部品を生産していますが、その生産活動、製品が環境に深く関わっていることを踏まえ、地域環境のみならず地球環境保全のために環境負荷低減を積極的に展開します。そのため、環境マネジメントシステムを構築し、全従業員参加のもと継続的な改善および汚染の予防を推進します。

1. 当社に適用される環境側面に関連する法律・協定・ガイドライン・業界規範等の要求事項を遵守し、並びに生物多様性及び生態系の保護を含む活動で地域との環境調和をはかります。
2. 当社は環境負荷を低減するため環境目的および目標を設定すると共に、全従業員一丸となって継続的に改善を推進します。
3. 当社で働く全従業員、又は当社のために働く全ての人に本方針を周知させるため、教育・啓蒙活動を行います。
4. 本方針は文書化し、要求があれば一般の人にも開示します。

改定日：2019年4月1日

株式会社オティックス

代表取締役社長 小田井勇樹

環境保全の4本柱

当社は、エンジン機能部品専門メーカーとして、全員で循環型社会の構築を目指します。

環境取り組みは2020年2月に第7次3ヵ年プランを改定し、2020年度をプラン初年度として環境コミュニケーションの推進を実施しています。主に右記の活動を行っています。

1. 「地球温暖化対策」

前年度に比べCO2 1%削減を目指します。

製造設備の省エネルギー対策や生産性を向上させることで実現します。

2. 「循環型経済社会の構築」

前年度に比べ産業廃棄物 3%削減を目指します。

最終的に埋め立てられる産業廃棄物を限りなくゼロにしていきます。

3. 「環境負荷物質管理」

製品含有化学物質の管理を強化します。

4. 「環境意識強化活動」

法・自主基準値以内の汚染防止に取り組みます。

地域交流、環境情報の公開、生物多様性に全力で取り組みます。

製品開発での環境配慮

製品の粗材、製造、使用、を考えた開発に取り組んでいます。

●粗材

環境になるべく負担のかからない、人や環境に優しい粗材の使用を目指します。関連する部署と協力し、使用する粗材に汚染物質が含まれていないか確認しています。

●製造

使用するエネルギーを減らし廃棄物をなるべく出さない設計を目指します。会社全体で製品の設計内容を確認しています。

●使用

部品を軽くしたり、摩擦力を小さくしたり、自動車が少ないガソリンでたくさん走れるような部品の設計を目指します。

生産工程設計の環境配慮

製品の品質、生産量、コストを満足させる生産工程の設計を行っています。また、使用するエネルギーを少なくするなど、環境に配慮した設備を導入しています。

1. エネルギー使用量削減への取り組み

- ①生産設備をスリム化（小型化）する。
- ②エネルギー消費の少ない機器を導入する。
- ③複数の工程を同時に加工する「複合設備」を導入し、設備の台数を減らす。
- ④電気使用量の大きいエアーブローを減らす。

2. 環境に配慮した取り組み

- ①新しい生産設備を導入する際に使われなくなった設備は改造して利用する。
- ②近隣の住民、従業員の健康や快適性に配慮した騒音の少ない設備を導入する。

環境への取り組みと実績

1. 汚染の予防

◇汚染予防の取り組み

当社は、排水設備の維持管理（日常点検：毎日・毎週・毎月）、定期点検及び法定点検・整備を実施しています。

また、災害時の対応や環境への理解向上を目的として緊急対応訓練及び環境一般教育を実施しています。取り組みにより汚染の予防で社内基準値オーバーなどはありません。

今後も汚染を予防する活動を継続して取り組みます。



排水処理設備の水質管理



緊急対応訓練



排水処理設備の定期点検等管理板



環境一般教育の様子

2- i. CO₂排出量削減の取り組み

◇CO₂排出量削減

当社は、（社）日本自動車部品工業会の第8次環境自主計画目標値に基づいてCO₂排出量の削減に取り組んできました。2019年度までに2007年度対比21.4%削減し、原単位でも目標を達成しました。引き続きCO₂排出量の削減に取り組んでいきます。

$$\text{CO}_2\text{排出量原単位} = \frac{\text{エネルギー消費量}}{\text{加工高}}$$

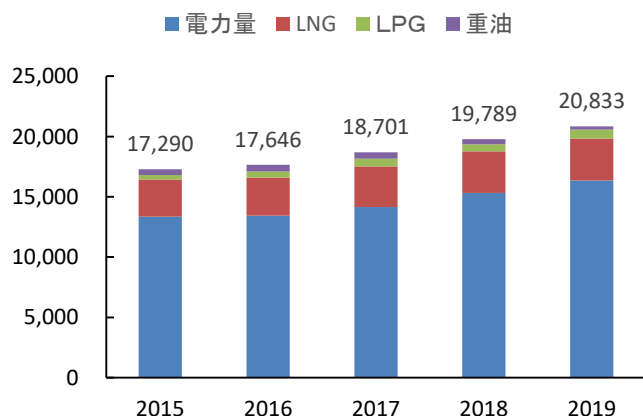


図1 CO₂排出量の推移（kl換算）

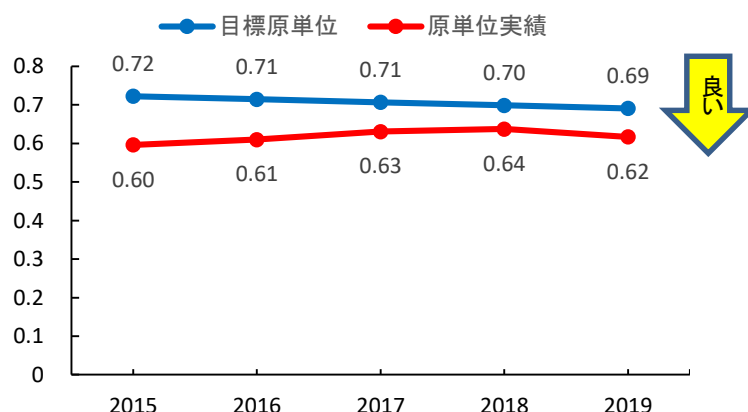


図2 CO₂排出量原単位の推移

2- ii . CO₂排出量削減の取り組み

◇CO₂排出量の削減事例

当社は、各工場が生産工程を改善することでCO₂排出量の削減に取り組んでいます。オティックス高岡では、工場ラインの配管に新しくパルスブローバルブを設置することでエアの発生量を調整し発生量を50%削減しました。

今後も各工場で生産工程を見直し、CO₂排出量削減に取り組んでいきます。

パルスブローバルブ



◇環境改善事例発表会

当社は、毎年「環境改善事例発表会」を実施し、各社で実施した省エネ、CO₂排出量削減活動を共有しています。実施内容の効果の検証および全社展開、他設備への展開に役立っています。昨年オティックス西尾のカムハウジングラインでは、ライン内蛍光灯照明周辺の照度を検証し、LED照明器具の取付基準を決め、照明の再配置を行い省エネを実施しました。



環境改善事例発表会

3 産業廃棄物削減の取り組み

◇産業廃棄物排出量の削減

当社は、(社)日本自動車部品工業会の第8次環境自主計画目標値に基づいて産業廃棄物の削減に取り組んできました。目標値に対して削減に取り組んできた結果、目標を達成することができました。

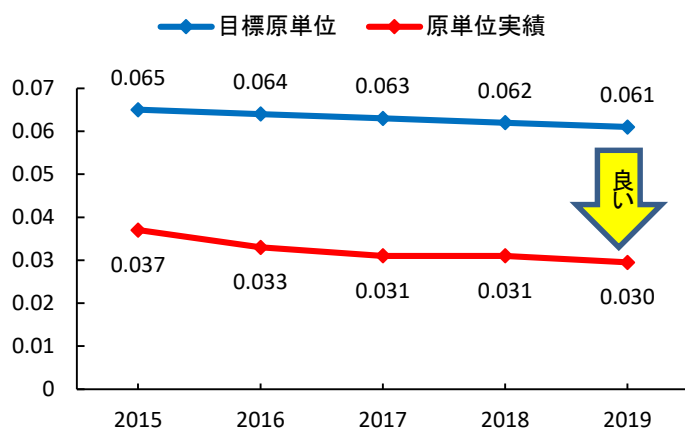


図3 産業廃棄物加工高原単位の推移

<産業廃棄物排出量の削減事例>

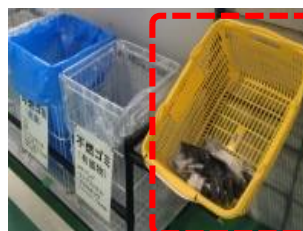
改善前

主に検査工程で使用するウレタン手袋をもやせるゴミで処理していました。



改善後

ウレタン手袋を分別することでリサイクルし、廃棄物を削減しました。



引取条件1
分別されていること

引取条件2
箱詰めにあること

生物多様性の取り組み

当社は、西三河南部生態系ネットワーク協議会連携事業にてオオキンケイギク駆除に参加しました。オオキンケイギクは、特定外来種であり繁殖力が強く強健なため、放っておくと日本古来の植物を駆逐してしまいます。少しずつでも駆除作業をすることにより日本古来の植物を守ることに繋がります。

今後も生物多様性への取り組みを進め、地域の生態系保全、自然環境保護に努めてまいります。



回収されたオオキンケイギク



緊急時の地域との関わり

当社は、緊急時を想定した訓練の他、地域の皆様とのつながりを意識した活動を推進しています。

緊急時の対応

当社は、毎年緊急時対応訓練を実施しています。また災害時には地域の皆様へ技術本館を緊急避難所として提供すること、災害停電時に自家発電電力を提供すること、災害用備蓄品を提供することをお約束しています。



(株) オティックス 技術本館避難訓練



(株) オティックス高岡 避難訓練



環境ボランティア活動

当社は、西三河南部生態系ネットワーク協議会に参加し、外来種駆除・生態系保全等各種行事にボランティアに参加しています。

生態系ネットワーク形成フォーラム参加

当社は、協議会からの案内を受け、生態系ネットワーク形成フォーラムに参加して生態系に関する理解を深めています。



生態系ネットワーク形成フォーラムの様子

外来生物駆除

当社は、西尾市ふれあいの里でかめわな設置体験に参加しました。アカミミシシッピカメは、繁殖力が強く日本古来の日本カメに影響を与えています。



かめわな設置体験に参加

地域との関わり

当社は、従業員の環境意識向上のため社内外のイベントを通して環境活動の重要性を伝えています。

オティックスフェスタの環境コーナー

当社は、地域の皆様と従業員とのコミュニケーションを推進するためオティックスフェスタを開催しています。

近隣の住民の方にお越しいただき、毎年夏まつりを楽しんでいます。環境コーナーでは環境クイズや、お子さん用ぬりえなどを実施しました、またエコキット（ダンボール）の作成など家族みんなで楽しく作成しました。



環境コーナーの様子



環境ポスター

地域貢献活動

当社は、自治体および地域の代表者にお越しいただき、会社概要、環境取り組み、工場見学、意見交換会を実施しています。地域の代表者からは、引き続き工場周辺への環境面での配慮や、従業員に対して交通ルール遵守の要望があげられました。今後も地域とのコミュニケーションを継続していきます。



（株）オティックス西尾 工場見学の様子



（株）オティックス幡豆 環境活動報告の様子



お客様との関わり

当社は、自動車業界およびお客様からの要求事項にお応えします。

（社）日本自動車部品工業会 第8次「環境自主行動計画」（2016年4月1日改正）

（社）日本自動車部品工業会では、環境問題への対応を重点対策としてとらえ、地球にやさしい環境作りを推進するために環境自主行動計画を定めています。

1.CO₂排出量

目標：2020年までに13%削減（2007年度比）

実績：2019年までに、2007年度比21.4%削減し

目標を達成しました。

当社は2019年度は各社省エネ改善活動を実施し着実なCO₂排出量削減を実現しました。

2.産業廃棄物量

目標：2020年度までに生産工程から発生する廃棄物の最終処分量を68%削減（2000年比）、および再資源化率85%以上とする。

実績：2019年までに、最終処分量73.2%削減し目標を達成しました。

2019年の主な改善活動として、オティックス西尾ではライン水溶液クーラントのタイプ変更により廃液量を削減しました。（1.57T/月減）。

3.揮発性有機化合物排出量（VOC）

目標：2020年度までにVOC排出量を30%削減（2000年度比）。有害大気汚染3物質（ジクロロメタン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン）は95%削減（2000年度比）する。

実績：2018年対象物質は全廃しました。

顧客 グリーン調達ガイドラインへの対応

当社は、お取引先様とサプライチェーン全体での環境負荷低減を進めるため、グリーン調達ガイドラインなどの要求事項に対応していきます。



お取引先様との関わり

コンプライアンス、環境保全のためにお取引先様を訪問し現場環境の確認を行っています。

確認項目は以下のとおりです。

- 油保管状況：水溶性油保管状況、油性油保管状況
- 薬品保管状況：排水薬品、工程薬品（フラックス剤・硫酸・硝酸など）
- 切粉捨て場状況：リサイクル状況、保管状況（流出の有無）
- 排水分離状況：工場内処理の有無
- 騒音・振動に関する苦情の確認：境界敷地近隣の状況（民家の有無、騒音発生設備の有無）
- 環境負荷物質管理についての実施状況の確認
- 溶剤（塗料など）の管理状況：VOC・規制物質の有無など
- 環境改善：ISO14001の取得状況、エネルギーの削減状況、環境月間における取り組み



(株) オティックス 技術本館清掃奉仕活動



(株) オティックス高岡 森づくり

株式会社オティックスホールディングス
株式会社オティックス
株式会社オティックステクノ
株式会社オティックス西尾
平坂工場
江口工場
寺津工場

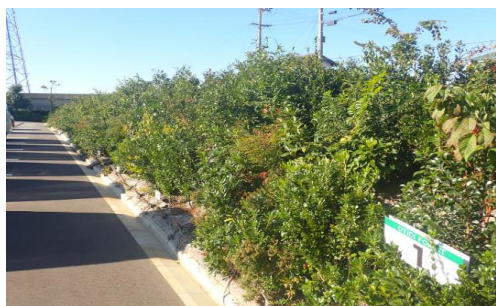
株式会社オティックス高岡

株式会社オティックス幡豆
幡豆工場

株式会社オティックス幡豆
蒲郡工場



(株) オティックス 技術本館森づくり



(株) オティックス西尾 寺津工場森づくり



(株) オティックス幡豆 蒲郡工場清掃奉仕活動



お問い合わせ先

株式会社オティックスホールディングス

総務人事部 安全・環境グループ

〒444-0392 愛知県西尾市中畑町浜田下10番地

TEL.0563-59-6481

FAX.0563-59-3325